



ピアノに関するお困りごと！とことんお手伝いします。

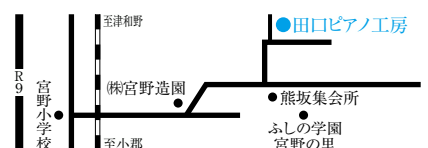
ます。しかし、より良い音を響かせる為には細かな掃除も重要ですし、打弦機構の整えることで弾き心地も変わってきます。音の柔らかさを調整して、弾く人の好みに合わせた音づくりを心掛けています。実際に音の変化を感じていただけなのが、調律師として嬉しい瞬間です。



細かい作業が続きます

身近な調律師に

最近、工房で作業をしていると2歳半の娘が遊びに来て、時々お手伝いもしてくれます。1人になって大変なことも多いのですが、娘の姿を見ると疲れも吹き飛びますね。これからは、身近な調律師として、ピアノに関する色々なお悩みに対応していきたいと思っています。人材育成もしていきたいですし、工房を活用してピアノに触れるイベントも開催出来たらと思っています。まだまだこれからですが、頑張っていきますのでよろしくお願い致します。



※起業カレッジとは
起業に興味がある方から起業後間もない方までを対象に、各段階に合わせて起業の基礎知識から学び、実践的な事業計画書の作成までをおこないます。今年度は終了しました。



田口ピアノ工房

代表者：田口 望
所在地：山口市宮野上 2922 - 3

T E L : 083 - 976 - 4780
H P : <http://taguchipiano.com/>
事業内容：ピアノ調律、修理、販売

ピアノへの興味

私子供の頃、父は河合楽器のピアノ調律師でした。私には兄妹がいて、私以外はピアノのレッスンをしていました。私は音楽に興味は示さなかったのですが、ピアノの機能には興味があり、父が自宅のピアノを調律している様子を時々イタズラしながらもよく見ていました。高校卒業後は調律師の道を選び、父と同じ河合楽器の調律学校で学び、卒業後は同社の大阪支店に勤めました。

やっぱり調律がやりたい

調律師として就職したものの、厳しい販売ノルマなどもあり、一旦調律の道を離れました。2年ほど過ぎた頃、父が退職を機に独立するという話になり、改めて調律の仕事の楽しさを思い出して、父に「鞆持ちからやり直したい」とお願いしました。父も独立して大変だったと思いますが、2人でお客様目線の丁寧な仕事を心掛け、地道に技術を極めていこうと頑張りました。

承継から独立へ

父も60歳半ばを過ぎた頃、いずれは私が継



工房の様子

ぐことになるのだらうと思っていました。その準備として、経営を学ぼうと山口商工会議所の起業カレッジ(※)を受講しました。そこでは自分の夢を実現させるためにみんな頑張っていて、色々と話している内に事業承継ではなく、自分もチャレンジしたくなりました。そこで、家族と相談し、私は平成28年5月に独立開業しました。



弦を打つハンマーを調整します

ピアノを繋ぐ、思いを繋ぐ

私のチャレンジは、自分の工房を持つことでした。調律も修理も基本は現場作業なので、スペースや時間も限られます。しかし、工房を構えることで、ピアノに適した保存環境を整え、大型の修理や買取も可能になります。思い出が沢山詰まったピアノを少しでも長く使いたい、誰かに引き継いでいきたいというお客様の思いを強く感じました。ピアノは、整備すれば100年以上弾くことができます。調律師として、少しでも長く音を楽しみ、思い出を繋ぐお手伝いが出来ればと思っています。

その人に合った音づくり

調律というと、ピアノの弦の張力を調整して音階を整えていく作業を思い浮かべると思い